

女神さま・オープンの運用状況

米国連続増配成長株オープン(愛称 女神さま・オープン)
追加型投信/海外/株式

2017年6月14日

女神さま・オープンでは、長期にわたって連続して増配している企業や、中長期的に成長が見込まれる企業に注目し、ポートフォリオを構築しています。今回のレポートでは、米国株式市場の足元の動向と企業業績見通し及び当面の運用方針についてお伝えいたします。

株式市場はIT関連株の上昇継続も一部に波乱の動き

米国株式市場は、成長が期待されるIT関連株が牽引し、6月上旬にかけて過去最高値を更新する展開となりました。年初来では、S&P500種指数の時価総額は8.6%増加する中、アップルなど大型の5銘柄の時価総額は合計で約28%増加し、全体の時価総額増加への寄与は6月8日現在で約38%を占めました。

一方、6月9日には、一部の証券会社から大型IT関連株の上昇を警戒するレポートが発行され、波乱の動きとなりました。株式市場では注目されるセクターやテーマに沿って値動きが偏ることがあります。例えば、昨年の大統領選挙以降は、トランプ大統領のインフラ政策や税制改革への期待を背景に経済成長と利上げペースの加速による長期金利の上昇で銀行株が大きく買われる展開となりました。その後、政策期待の剥落とともに期待インフレを示すと言われる米国ブレイクイーブン5年は低下基調となりました。そのため、株式市場では緩やかな利上げペースと経済成長を反映し、成長確度が高いとされる大型IT関連株への資金流入が続く一方、銀行株などが相対的に劣後する展開となりました。

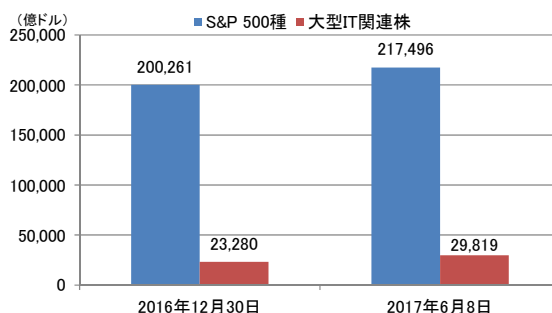
大型IT関連株につきましては、今後、金融政策の見通しの変化に伴う期待インフレの動向に左右されると考えられますが、良好な業績見通しを背景に徐々に落ち着きを取り戻し、再び上昇基調を辿ると考えます。

良好な企業業績は継続、為替動向に着目した銘柄選別

上方修正が顕著となった米国企業の2017年1-3月期決算に続き、足元で4-6月期以降の業績予想について見直しが進み、企業業績の改善基調が示されています。

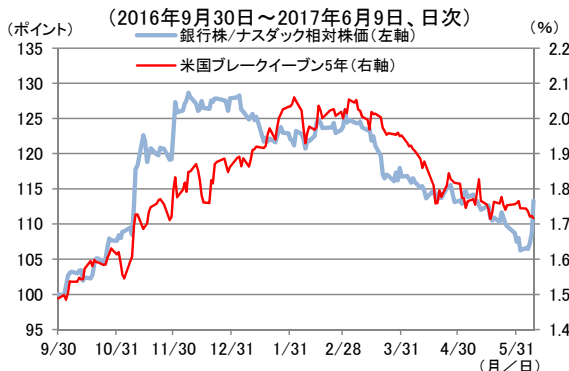
今後も緩やかな景気拡大を背景に企業業績は全般に底堅く推移すると見込まれます。また、足元の米ドルの調整によりグローバルに展開する企業では業績の上方修正が期待できると考えます。当ファンドでは、良好な企業業績が見込まれる銘柄に選別投資する中、足元では、グローバルで展開する生活必需品株のウェイトを引き上げて運用しています。

米国株式市場と大型IT関連株の時価総額比較



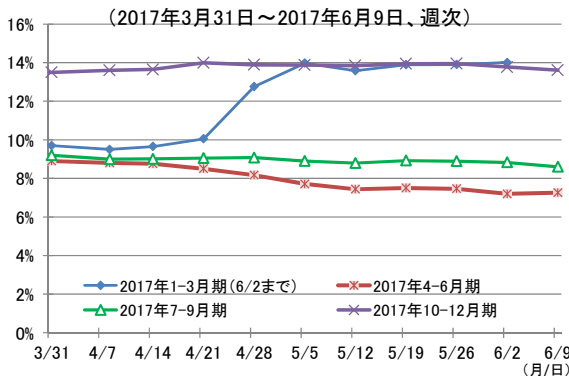
※大型IT関連株はフェイスブック、アマゾン・ドット・コム、アップル、マイクロソフト、アルファベットの5銘柄合計
(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

米国の期待インフレと物色動向の推移



※KBW銀行株指数とナスダック総合指数の相対株価を2016年9月30日を100として指数化。期待インフレは米国ブレイクイーブン5年を使用
(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

S&P500種指数構成銘柄のEPS増減率修正動向



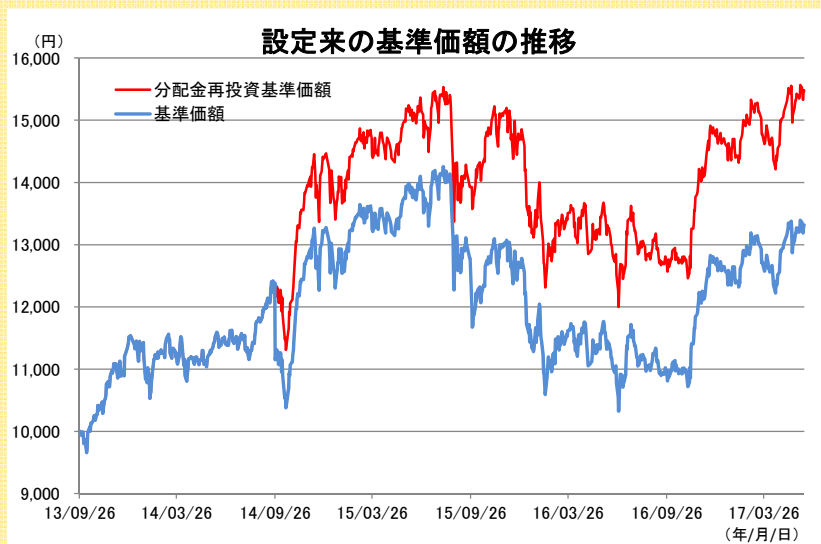
(出所) Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国連続増配成長株オープン 愛称 女神さま・オープン
追加型投信／海外／株式

運用状況（作成基準日 2017年6月9日）



ファンドデータ（6月9日現在）	
基準価額（円）	13,316
残存元本（口）	2,864,492,121
純資産（円）	3,814,485,206
実質株式組入比率（%）	95.5
現金比率（%）	4.5
組入銘柄数	56

決算期	分配金（円）
第3期（2016年9月26日）	0
第2期（2015年9月28日）	800
第1期（2014年9月26日）	1,000

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
 ※また、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。
 ※各決算期における分配金は1万口当たり（税引前）です。

組入上位10セクター			組入上位10銘柄			
	セクター名	比率		銘柄名	セクター	比率
1	ソフトウェア・サービス	10.1%	1	アマゾン・ドット・コム	小売	4.3%
2	ヘルスケア機器・サービス	9.8%	2	アルファベット	ソフトウェア・サービス	4.0%
3	小売	8.5%	3	マイクロチップ・テクノロジー	半導体・半導体製造装置	3.5%
4	資本財	8.4%	4	エヌビディア	半導体・半導体製造装置	3.0%
5	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.6%	5	クーパー	ヘルスケア機器・サービス	2.6%
6	半導体・半導体製造装置	6.4%	6	コストコホールセール	食品・生活必需品小売り	2.5%
7	素材	6.1%	7	シグネチャー・バンク	銀行	2.5%
8	食品・飲料・タバコ	5.1%	8	アライン・テクノロジー	ヘルスケア機器・サービス	2.5%
9	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	5.0%	9	アップル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.5%
10	各種金融	4.4%	10	メトラー・トレード・インターナショナル	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.4%

※比率は、米国連続増配成長株マザーファンドの純資産総額に対する組入比率です。

連続増配銘柄は通貨安メリットを享受する銘柄に選別投資し、成長銘柄はウェイト付けを見直し

米国株式市場は緩やかな景気拡大と良好な企業業績を背景に全体は底堅い展開が続く一方、高値警戒感が高まったIT関連株は一時的に調整し、落ち着きどころを探る展開になると予想します。

当面の運用につきましては、連続増配銘柄では、米ドルの調整でメリットを受ける企業を中心に選別投資を図ります。成長銘柄では高い競争力や独自の成長力を有する企業をウェイト付けする一方、一時的な調整局面が予想されるIT関連株や半導体株については個別に業績修正動向を精査し、ウェイト付けを見直します。

以上

（作成：グローバル・エクイティ運用部）

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「米国連続増配成長株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国連続増配成長株オープン 愛称 女神さま・オープン
追加型投信／海外／株式

米国連続増配成長株オープンに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」、「カントリーリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.566%（税抜1.45%）
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.01296%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただけます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただけます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
藍澤證券株式会社	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
飯塚中川証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第1号	○			
今村証券株式会社	北陸財務局長(金商)第3号	○			
エイチ・エス証券株式会社	関東財務局長(金商)第35号	○			
永和証券株式会社	近畿財務局長(金商)第5号	○			
エース証券株式会社	近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
共和証券株式会社	関東財務局長(金商)第64号	○	○		
極東証券株式会社	関東財務局長(金商)第65号	○			○
ごうぎん証券株式会社	中国財務局長(金商)第43号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長(金商)第6号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長(金商)第8号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長(金商)第5号	○			
高木証券株式会社	近畿財務局長(金商)第20号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
長野証券株式会社	関東財務局長(金商)第125号	○			
奈良証券株式会社	近畿財務局長(金商)第25号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
フィデリティ証券株式会社	関東財務局長(金商)第152号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
丸國証券株式会社	関東財務局長(金商)第166号	○			
三木証券株式会社	関東財務局長(金商)第172号	○			
三田証券株式会社	関東財務局長(金商)第175号	○			
明和証券株式会社	関東財務局長(金商)第185号	○			
豊証券株式会社	東海財務局長(金商)第21号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
(登録金融機関)					
株式会社沖縄海邦銀行	沖縄総合事務局長(登金)第3号	○			
株式会社近畿大阪銀行	近畿財務局長(登金)第7号	○			
株式会社西京銀行	中国財務局長(登金)第7号	○			
株式会社埼玉りそな銀行	関東財務局長(登金)第593号	○		○	
株式会社佐賀共栄銀行	福岡財務支局長(登金)第10号	○			
株式会社静岡中央銀行	東海財務局長(登金)第15号	○			
株式会社島根銀行	中国財務局長(登金)第8号	○			
株式会社第三銀行	東海財務局長(登金)第16号	○			
株式会社大正銀行	近畿財務局長(登金)第19号	○			
株式会社トマト銀行	中国財務局長(登金)第11号	○			
株式会社富山銀行	北陸財務局長(登金)第1号	○			
株式会社富山第一銀行	北陸財務局長(登金)第7号	○			
株式会社福岡中央銀行	福岡財務支局長(登金)第14号	○			
株式会社豊和銀行	九州財務局長(登金)第7号	○			
株式会社北洋銀行	北海道財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社りそな銀行	近畿財務局長(登金)第3号	○		○	

<本資料に関するお問い合わせ先>

カスタマーサービス部 フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)